

【見える】安全活動コンクール：転倒災害及び腰痛を防ぐための「見える化」

転倒災害リスクに対する教育強化

☆繰り返し発生している転倒災害に対して、各種危険体感教育を導入

転倒災害に関し、軽微な怪我を含め依然として発生している。安全道場にて全従業員へ実施している安全教育の中に、転倒災害リスクにフォーカスした「危険体感教育」を導入し、年間通じ繰り返し教育(3回/年)を実施している。

＜転倒危険体感教育＞

- ・座学（モニターにて転倒災害に関する座学教育実施：スライド動画使用）
- ・工場内歩行時のルール説明（右側通行、2列歩行禁止、ながら歩行禁止、車両通行側が優先 等）
- ・安全靴（裏面のすり減り）→ 実物を見ながら現在履いている靴の裏を確認し、不具合があれば新品と交換させる）
- ・歩幅計測（10mを歩行し、その結果から各々の歩幅を知り、転倒しない歩き方の改善へつなげていく）
- ・階段昇降の危険体感（手すりを持って昇降するルール。※構内階段には各種表示の他にホィップリフターによる問いかけも実施）
- ・床面の状況に応じた滑り危険体感（油、水、粉塵、その他 → 様々な床の状況を再現し、歩行を実施し、滑りやすさを体感する）
- ・ながら歩行の危険体感（ながら歩行時は視野が狭い → 特殊ゴーグルをつけて通路、障害物エリア等で歩行実施し、視野の狭さを体感する）
- ・酔っ払いメガネ体感（酔っ払いメガネを装着し、真つすぐ歩けるか？を体感させ、楽しく、面白く教育することで教育内容を身に付けてもらう）

＜教育風景＞



座学(転倒災害とは)



構内歩行ルール説明



安全靴の知識



歩幅計測



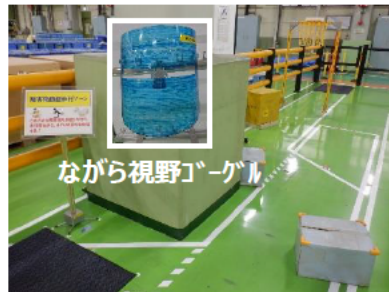
階段歩行(危険体感)



滑り歩行(危険体感)



ながら歩行(危険体感)



ながら視野ゴーグル

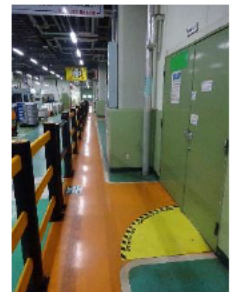


酔っ払いメガネ

酔っ払いメガネ歩行(体感)



【参考】構内階段



【参考】歩車分離(歩行帯)

「転倒災害を発生させないよう、繰り返し繰り返し教育を実施していく。」



構内歩行ルール説明



【参考】階段表示



階段表示 (拡大)



【参考】階段昇降用ボイスプロンプター

※全10種類オリジナル吹込み、ランダム発信

- ・其処のあなた、手すりをもって！
- ・階段を昇り降りする際は、手すりを持って転倒防止に心がけましょう！
- ・階段・転倒防止・手すりよし！
- ・両手が塞がっていませんか？手すりを持って昇降しましょう！
- ・駆け足厳禁！手すりを持って昇降しましょう！
- ・急がず！焦らず！慌てず！つを心がけましょう！
- ・ながら操作や、スマホ操作は怪我の元！手すりを持って安全ヨシ！
- ・靴ひもが緩んでいませんか？しっかりと結びましょう！
- ・特に雨の日は滑りやすいので注意しましょう！
- ・階段を昇り降りする際は、手すりをお持ちください！



ながら視野コーゲル

ながら歩行(危険体感)



酔っ払いメガネ

酔っ払いメガネ歩行(体感)



【参考】歩車分離 (構内歩行帯：オレンジ色)